



真龍小便い

【学校の教育目標】
 ☆心と体をきたえる子
 ☆美しい心をもつ子
 ☆考えて行動する子
 ☆生き生きと学ぶ子

No.12 令和7年1月31日発行

「絵本」を通してつながるものはなに？

校長 斉藤 直彦

現代は、スマホやタブレット、パソコンなど、子どもたちの周囲に便利で楽しい「モノ」があふれています。これらの「モノ」はさまざまな豊かさを提供するとともに、子どもから大切な機会を奪い去りつつあるのではないかという懸念もあります。その機会とは、人と人とが関わりあう機会です。今の小学生たちは、コロナ禍における学校生活を経験しており、人と人が関わりあう機会が大幅に減った時期がありました。そういう機会が不足すると、対人関係を学ぶ経験が不足し、人間関係のトラブルに弱くなるばかりか、その処理に必要な技能も学んでいない状態に陥ります。ですから、今の学校（真龍小に限らず）には、人と人との関わり合いの機会を創出することがとっても求められています。

以下に、「真龍おはなし隊」の皆さんが読み聞かせを通して考えた感想（抜粋）を載せます。読んでいただければわかるように、「絵本」を通して、おはなし隊のみなさんと真龍小の子どもたちとの関わり合い、そして、心と心のつながりができていることがわかります。

- ・聞くところは聞いて、笑うところは笑ってくれてよい空気の中で読めました。
- ・2分くらい残っていたので、「あと一つあるけど・・・」と言うと「読む!!!」と言ってくれたので、楽しんでもらったのかなと思います。
- ・（盛り上がってくれたり、面白かったと言ってくれたりするので）読む本を選ぶのは、難しく楽しいです。
- ・（読んだ本は）子どもたちの反応を楽しみたくて選びました。問いに対して予測を立て意見を一生懸命伝えてくれる子、結果に対して大きなりアクションを見せてくれる子、そんな様子に読んでいる私もわくわくさせてもらいました。
- ・子どもたちはとても反応がよく、いっぱい笑ってくれたので徐々に私も気持ちが和らぎ楽しませてもらいました。
- ・ノリがよくて、読んでいて楽しく、こちらも引っ張って全体を盛り上げてくれるので、とてもありがたいです。
- ・コミカルな絵本を選んだので、突っ込みを入れてくる子や笑ってくれる子がたくさんいて、楽しい時間が過ごせました。
- ・盛り上がりすぎて「聞こえない」という子もちらほら。ここは読み手として私ももっと腕を磨かなければならないなと感じました。
- ・（本の題名が）一番面白かったという声も聞こえてきたので、また子どもたち自身が展開を予想して参加できるような本を探して挑んでみたいです。
- ・話によって笑い声が聞こえたり、じんわりオチが理解されたりとリアクションを見ながら、感じながら読むことができ、楽しかったです。

真龍おはなし隊は、2012年（平成24年）に発足し、コロナ禍も工夫しながらずっと読み聞かせを続けて、子どもたちと心のつながりを作ってきました。忙しい中、学校に足を運んで、このようなつながりを作っていただける真龍おはなし隊の皆さんに、あらためて感謝したいと思います。

日	曜	2月の主な行事
1	土	
2	日	
3	月	児童朝会（保健）運動の日（2年）スケート学習（6・5年） 参観日（3・4年） 読書パビリオン～18日
4	火	短縮日課 真龍中体験入学（6年）
5	水	スケート学習（3・4年） 運動の日（1年）
6	木	短縮日課 参観日（1・2年）
7	金	短縮日課 がん教育授業（6年） スケート学習（4・3・1年）
8	土	
9	日	
10	月	講話朝会 スケート学習（2・3年） 真中音楽乗り入れ授業（6年）
11	火	建国記念の日
12	水	参観日（5・6年） 運動の日（3年）
13	木	短縮日課 児童総会（3～6年）
14	金	短縮日課 中休み読み聞かせ（1年）
15	土	PTA 親睦ポッチャ大会 10:00～12:00 体育館
16	日	
17	月	真中算数乗り入れ授業（6年） 運動の日（4年）
18	火	短縮日課 交通安全指導日 ブックトーク（6・4・5年）
19	水	運動の日（5年） PTA 第2回専門委員会
20	木	短縮日課
21	金	短縮日課
22	土	
23	日	天皇誕生日
24	月	振替休日
25	火	真小学びの約束振り返り（～28日）
26	水	運動の日（6年） 放課後学習
27	木	短縮日課
28	金	短縮日課

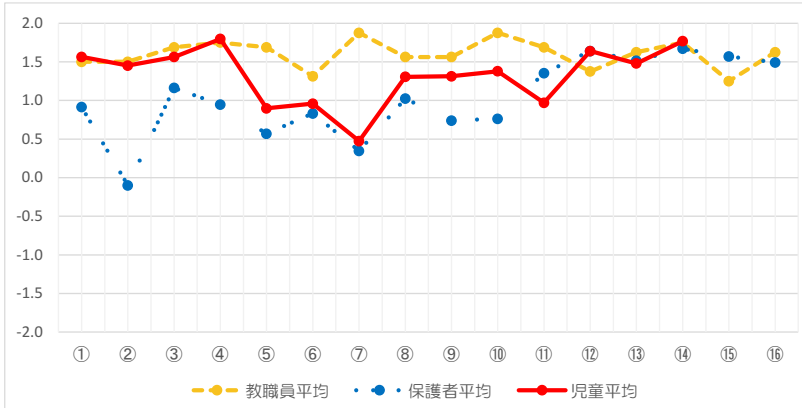
2月の帰宅時刻 16:00
 この時間以降の外出は保護者同伴をお願いします。
 児童の下校時刻に合わせて、また夏冬春休み中は日中家の外に出て、庭作業や掃除などを行いながら、同時に児童の見守りを行う「ながら見守り」への協力をお願いします。

令和6年度第2回学校評価アンケートの結果について

R06.12 学校評価		アンケート三者比較 (ピンクは前回より+0.2～ 水色は-0.2～)															
全校	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	
教職員平均	1.5	1.5	1.7	1.8	1.7	1.3	1.9	1.6	1.6	1.9	1.7	1.4	1.6	1.8	1.3	1.6	
R06 6月	1.6	1.8	1.7	1.8	1.4	1.0	1.8	1.5	1.6	1.9	1.7	1.4	1.4	1.9	1.5	1.7	
保護者平均	0.9	-0.1	1.2	0.9	0.6	0.8	0.3	1.0	0.7	0.8	1.4	1.6	1.5	1.7	1.6	1.5	
R06 6月	0.9	-0.2	1.1	0.9	0.8	1.0	0.3	0.9	0.7	0.6	1.4	1.7	1.6	1.7	1.5	1.6	
児童平均	1.6	1.5	1.6	1.8	0.9	1.0	0.5	1.3	1.3	1.4	1.0	1.6	1.5	1.8			
R06 6月	1.7	1.4	1.6	1.8	1.2	1.1	0.6	1.4	1.2	1.4	1.1	1.7	1.6	1.8			

12月に真龍小学校の教育活動についてのアンケートを実施させていただきました。ご協力、ありがとうございました。その結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

○1 回目同様「当てはまる⇒+2点」「どちらかと言えば当てはまる⇒+1点」「どちらかと言えば当てはまらない⇒-1点」「当てはまらない⇒-2点」「未記入⇒計算対象外」として計算して平均した数値です。ですので、平均が「1.0以上」になることで、プラス評価されているとみなせます。



◇ 評価項目 ◇

①自分から挨拶できている。②後片付けや整理整頓に気をつけている。③思いやりのある態度で友達や周りの人に接している。④交通事故や災害などの危険から身を守る習慣が身につけている。⑤進んで外遊びや運動をしている。⑥「早ね・早起き・朝ごはん」などの生活習慣が身につけている。⑦学校図書館や情報館で本を借りたり本を買ったりして、本に親しもうとしている。⑧家庭学習の習慣が身につけている。⑨基礎的・基本的な学力が定着している。⑩タブレットを活用しながら、自ら進んで学習に取り組んでいる。⑪楽しく学校に通っている。⑫学校は、わかりやすく授業をしている。⑬学校は、子どものよさや苦手さを理解し、個に応じた指導をしている。⑭学校は、子どもや保護者からの相談に積極的に応じている。⑮学校は、教育方針をわかりやすく伝えたり、情報提供を積極的に行ったりしている。⑯学校は、感染症対策を含め、安全安心に配慮し、校舎等の環境や危機管理体制を整えている。
※⑮⑯の質問は、児童のアンケートでは行っていません。

【三者の数値を比較して】

- 「⑬ 個に応じた指導」「⑭ 相談への対応」は、三者の数値がほぼ一致しています。学校の取り組みが児童や保護者の皆様にもしっかりと伝わっているものと考えられます。今後も、本校の強みとして取り組みを継続していきます。
- 「⑤ 体力づくり」の数値が前回よりも下がっています。前期よりも外遊びの機会が減る後期のアンケートでは数値が下がる傾向にあります。自分が一日の中でどのくらい体を動かしているかを把握し、運動への興味・関心が高まるような取り組みを今後行っていきます。
- 「②整理整頓」「⑦ 読書」は、三者の数値に差が見られます。児童には、学校でできている身の回りの整理や読書を、家に帰ってもできるように指導を行っていきます。保護者の皆様も、同じように声掛けしていただくと幸いです。ご協力、よろしく申し上げます。

自由記述欄より

自由記述欄にも多くのご意見やご感想、ご要望をお寄せいただき、ありがとうございます。いただいたご意見やご要望は、学校全体のこととして捉え、改善すべき点は改善していきます。

- ・いつもお世話になっております。先生方には、いつも丁寧に対応いただき感謝の気持ちでいっぱいです。
- ・日頃からとても丁寧に指導されているなど感じています。困った時にも忙しい中対応いただき、大変感謝しております。
- ・人数が多い中、一人ひとりをよく見ていただきありがとうございます。生活習慣や言葉と遣い方、友達との関わり方などもその都度指導していただいて感謝しています。学校に任せきりにならず、家庭でも子どもとの関わりを大切にしていこうと思います。
- ・学校の先生方がとても一生懸命だと思います。安心して通わせています。
- ・こちらの相談にも、熱心に対応していただいております。学校での様子を教えてください、大変感謝しております。
- ・ICTの活用や自由進度学習など最先端の学び方が浸透していて、本当にすごいと思います。時代に合った先生方の柔軟な対応に感服いたします。
⇒ありがとうございます。保護者の皆様からの温かいお言葉は、教職員一同の励みになります。今後も、子ども達の成長を支えてまいります。
- ・遠足の目的地が近く、4つの学年が同じ場所なのは少し寂しいと感じます。熊対策等大変だとは思いますが、少し残念だなと感じます。
⇒ご意見ありがとうございます。過去に、高学年の遠足目的地を子野日公園に設定していたところ、熊が出没して急遽変更したケースがありました。また、熱中症対策として実施時期を7月から5月に変更したため、公園で開催されるお祭りの期間と重なることもあり、現在の形になりました。今後も、子どもたちの安全を第一に考え、安心して楽しめる遠足の実施に努めてまいります。
- ・金曜日の宿題は、家庭の選択や判断で、有り・無しを選べるようにしてほしいと思います。週末は家族との時間や課外活動、習い事などに充てていきたいと思っております。ご検討よろしくお願いいたします。
- ・長期休暇中の課題で自由研究や作業がありますが、自由提出にしてほしいです。ドリルの丸つけの他に苦手な子には親が監督しなくてはならなくて、負担が増えてしんどいです。やりたい子は家庭学習のくくりで取り組み、提出したらいいと思います。
- ・夏休みや冬休みの自由研究ですが、低学年のうちは特に親がアドバイスや材料をそろえたり手伝ったりすることが多いので、自由研究は夏休みのみなどにし、冬休みはその分ドリルを増やす等、ご検討いただきたいと思います。
⇒学校では、様々な取り組みを通して、子どもたちが自立した学習者へと成長できるように支援しています。家庭学習や長期休業中の課題もその取り組みの一つです。ご提案にもある通り、子ども自身で学習計画を立て、自己管理する力を養うには、学校と家庭の連携が重要となります。子どもたちや保護者の皆様とも共通理解を図りながら進められる長期休業中の課題の取り組みについて、今後も検討してまいります。
- ・学校のタブレットを持ち帰り、家庭学習を楽しんで取り組めていますが、動画等をみている事もあります。学習のみに設定を対応してもらえたらいいなと思います。
⇒タブレットは、教育委員会より学習用として貸出されています。ご指摘のように、学習に関係ない動画を視聴できないようにすることは、設定上難しいとのことですが、学校では、タブレットは学習の目的以外には使わないように指導しています。各ご家庭におかれましても、お子さんへ同様に声掛けのご協力をお願いいたします。
- ・担任の先生は情熱と信念を持って学級運営をしてくれていると思います。私は、先生の笑いを入れながらの柔らかな対応は子どもに良い影響を与えていると思います。学校は、学年または学級別に担任の先生を助ける支援を即効性を持って行って欲しいと思います。
⇒ご意見ありがとうございます。学校では、担任が各学級でよりきめ細やかな指導ができるよう、担任外教諭や学級支援員と綿密な連携が図れるシステムを構築して運用しています。おそらく、その取り組みの成果が伝わっていないため、このようなご意見をいただいたものと推察いたします。日々の取り組みの効果は、少しずつではありますが、確実に表れております。子どもの成長は、すぐに目に見えるものではありません。長期的な視点で子ども達の成長を見守っていただくと幸いです。
- ・車で送り迎えをする際に、子ども達の行動が気になります。親の車を発見すると親が来る前に車に走って行く子がいて、スクールバスなどで混み合っている際、急に飛び出してくるので、本当に危ないと思います。
⇒送迎時の子どもの安全確保について、ご意見ありがとうございます。送迎時の駐車場のきまりについては、子ども達への指導や保護者の皆様への周知徹底を図り、より一層安全な登下校の安全確保を目指します。ご協力をお願いいたします。
- ・デジタル時代に紙の配布物が多い気がするので、各家庭の都合も考慮して紙とメール等デジタルでの配布物を選べる様になると便利です。
⇒学校では、先生方が子どもたちと向き合う時間と、心のゆとりを生み出すことを目的として、働き方改革を進めております。ご提案にある配布物のデジタル化は、保護者の皆様にとってより便利になる利点があります。一方で、デジタル化に伴い、先生方が「やるにこしたことはない」業務に追われる可能性も考えられます。先生方が子どもと向き合うゆとりが削られることがないように、ご家庭の利便性とのバランスを慎重に吟味し、デジタル化への対応を判断していきたいと思っております。

※今回の記述に関わり、プライバシーと人権保護の観点から、学級名や個人名などを一部省略し、人格を傷つける可能性のある言葉は掲載しておりません。また、紙面の関係上既に対応済みのものも掲載しておりませんので、あらかじめお知らせいたします。